

・「びわ湖と共生して生きてきた大津の人々の暮らし・環境を、多くの方に知ってもらいたいという意義で、初めて来た方でも大津の暮らし・環境を体感できる、テーマ性・ストーリー性のある新しい旅のかたちを『大津エコツーリズム』と呼ぶ」と定義づけをし、Webアンケートを実施する。

・Webアンケート：20,000人のアンケートパネルから本調査の対象者500人を抽出するための予備調査6問、本調査10問について10月半ばより実施予定。

・アンケート・モデルコースの評価5コースに掲載するモデルコースについて、前回特別委員会及び本日までに提出のコース案の中で投票の結果以下のコースを採用。10月9日までに内容をアンケート様式にて提案した委員より提出。

- ①里山から湖へ水環境にふれる旅
- ②新しいびわ湖の楽しみ方教えます
- ③母なるびわ湖であのブラックバスを食す旅
- ④戦国の近江の国大津をめぐる旅
- ⑤「エコアート型」湖上からのロケーションで絵を描く